

2021年度 徳島大学医学部保健学科看護学専攻 1～2年生の女子学生の保護者の方へ

研究 女子大学生における経口避妊薬に関する知識の差とその使用に関する抵抗感の関係 の実施について

1. 本研究の目的および方法

本研究の目的は、女子大学生における月経の症状、経口避妊薬や低用量エストロゲン・プロゲステン配合薬 (low dose estrogen progestin ; LEP) に関する知識・理解度を調査し、これらの薬剤への抵抗感との関係を明らかにすることです。さらに、月経の症状や経口避妊薬、LEP に関する知識・理解度は月経随伴症状の程度に関連するのかわかり、月経随伴症状と月経についての正しい知識習得、経口避妊薬や LEP への関心との関連性を明らかにしていきます。

研究対象者は、研究に関して説明を受け、研究参加に同意を得られた徳島大学医学部保健学科看護学専攻 1～4年の女子学生 280名です。

研究は、Survey Monkey を用いた Web アンケートで、無記名で回答していただきます。アンケート回答に要する時間は約 5～10 分です。本研究は、徳島大学病院医学系研究倫理審査委員会の承認を得て実施しています。研究全体の実施期間は徳島大学病院医学系研究倫理審査委員会の承認後から2022年3月 23 日までです。

2. 研究に用いる試料・情報の種類および保管方法について

研究に用いる情報の評価については、年齢、月経周期、月経中の症状、月経中の症状への対処行動、経口避妊薬の使用の有無とその目的・使用希望の有無、経口避妊薬についてのイメージ、経口避妊薬への理解度、経口避妊薬の使用基準、産婦人科受診希望の有無、受診経験者には受診目的、受診未経験者には理由などを質問します。

調査は無記名で行い、個人を特定できないように匿名化し、被験者のプライバシーを保護します。情報の保管方法については、得られたデータは、施錠可能な棚で厳重に保管し、研究が終了次第(2022年3月23日まで)破棄します。また、調査データは本研究以外には使用しません。

3. 研究結果の公表について

本研究の結果は卒業研究発表会、学会や雑誌等で公表する予定ではありますが、公表に際しては特定の研究対象者を識別できないように措置を行った上で取り扱います。

4. 研究資金および利益相反管理について

本研究における特別な研究資金はありません。本研究は、当分野の研究費のみを使用して実施いたします。本研究の利害関係については、臨床研究利益相反審査委員会の審査を受け、承認を得ています。

5. 本研究への参加を拒否する場合

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて学生またはその保護者の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも学生に不利益が生じること

はありません。

6. 研究責任者および連絡(問合せ)先

【研究機関】 徳島大学大学院医歯薬研究部

【研究責任者】 徳島大学大学院医歯薬研究部 生殖・更年期医療学・教授・安井敏之

【連絡先】 徳島大学大学院医歯薬研究部 生殖・更年期医療学・教授・安井敏之

電話番号 088-633-9023

メールアドレス:tosyasui@tokushima-u.ac.jp

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい。